

中村高校だより

第 260 号

愛知県立中村高等学校PTA
名古屋市中村区菊水町1-2-18
TEL 052-411-7760



学校再開にあたって ～PTA総会挨拶より～

校長 渡邊 修

経験した事の無い時代の中で

PTA会長 近藤英生

令和2年度PTA会長を務めさせていただきます近藤です。誰もが経験をした事が無い、そんな世界の中で令和2年度が始まりました。約2か月間の休校の後ようやく対面での授業が始まる事になりましたが、依然として新型コロナウイルス感染症の不安がある中で、学校も精一杯生徒たちの事を考えて学校運営のスケジュール調整を行っていただいています。

授業開始が遅れた事で様々な影響が出ています。部活動は新入部員への案内が遅くなり、活動そのものや、試合、発表の場も失われています。また、夏休みを大幅に短縮して授業時間を確保しました。安全への配慮から、子供たちにとっては高校生活の中でも特にクラスや友達の結束が固まる体育祭、文化祭も中止とすることとなりました。心と体の成長につながる重要な行事が無くなる事を思うと心が締め付けられる思いです。

またPTA活動も6月の研修旅行をはじめ7月の懇談会、9月の文化祭におけるバザー、模擬店が中止になりました。PTAの皆さんが横のつながりをもつ絶好の機会である様々な行事が中止になり、とても残念な思いです。

このような状況の中でも、私たちは子供たちが少しでも成長する事が出来るように、良い思い出が出来るように、学校と連携しながら取組み、来年度へ良い形でバトンタッチができるように進めてまいりたいと思います。まだまだ何が起きるのか誰にもわかりません。そんな中でも子供たちの明るい未来を信じてPTAの皆様には感染対策に心がけていただき、ご理解ご協力をお願いできればと思います。よろしくお願い申し上げます。

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解ご支援をいただき厚くお礼を申し上げます。さて、我々教職員一同、臨時休業中には学習課題や解説動画のWeb発信や授業・行事計画の再編成など、学校再開に向けて準備を進めてきましたが、学校はPTAから多大な実行力をいただいていることを再認識する機会でもありました。民間のオンライン学習支援サービスやWeb学校連絡網が、いち早く本校で導入できているのもPTAのご理解ご支援によるものです。また、PTAによって教室の空調が整備されているからこそ、夏休みを短縮して補充授業も実施できるのです。一方で組織である以上、皆さんにご足労をお願いして予算や事業計画について承認いただかなくてはなりません。生徒の教育環境整備において、皆様一人ひとりがまさに学校運営の当事者であり、役員の方々もこのことに誇りをもって活動していただいています。子どもたちはこうした大人の姿を通して、「儲かる」とか「得になる」ということとは無関係に「自分と他人のために、世の中には必要なものがある」ということを実感として学ぶのだと信じています。我々教職員も皆様に負けないよう、こうした大人のモデルであり続けたいと思います。

今年度は新型コロナウイルス感染症との長期戦を見据えた学校運営が求められ、絶対に気を緩めるわけにはいきません。“山は登る時より下の方が難しい”ともいいます。生徒の健康確保と学習保障を第一に考え、学校行事についても縮小、延期、中止など、大幅な変更が必要となります。社会的にこれほどまでに、文化・芸術・スポーツのイベントが中止に至っている状況でもあり、このことについて皆様には格別のご理解をいただくとともに、事態が収束した暁には、改めて本校PTA活動への積極的なご参加をお願いいたします。

新 転 入 職 員 紹 介

数 学 戸 谷 遼 先生(一宮工業高校より)

「とたに りょう」と申します。言うまでもなく、皆さんのサポートを全力でさせていただくつもりですが、皆さんも私を全力でサポートしてください。助けてください。お互いに助け合って、成長していきましょう。何卒、よろしくお願い致します。

数 学 野々田洋輝 先生(明和高校より)

これまで4校で勤務してきましたが年齢的に最後の勤務校となりそうです。コロナ禍ということで通常とは違う年度開始となりましたが、授業も分散で始まり、改めて生徒と過ごす生活が楽しく思っています。教員になりたての頃の気持ちを胸に、この中村高校で生徒の皆さんと楽しく過ごせることを願っています。どうぞよろしくお願い致します。

理 科 門口賢司 先生(一宮興道高校より)

教員生活最後の勤務校は母校で！という夢が叶いました。校歌にある「自主の庭」、自由とほどよい規律が保たれていて、おおらかで好奇心旺盛な、この伝統を、生徒の皆さんと一緒に学校行事を通じて守っていきたいです。生徒(後輩)の皆さんにとって中村が心のふるさととなるように、バックアップしていきますよ。

養護教諭 三好充代 先生(松蔭高校より)

新型コロナウイルス感染症は私たちの日常生活を大きく変えてしまいました。まだまだ先が見えない状況ですが、皆さんが健康に学校生活を送れるよう保健室から情報発信していきたいと思っています。よろしくお願いします。

保健体育 稲山武史 先生(新規採用)

私が教師を志したのは高校生の頃です。その頃を少し思い出しながら、教員としてのスタートを、中村高校で迎えることになりました。この縁を大切に、全力を尽くします。共に学び、共に成長していきましょう。よろしくお願いします。

再任教諭国語 長谷川尚之 先生(名古屋西高校より)

専門は古典ですが、他の分野、特に歴史と自然科学

が好きです。勉学にあたっては、興味、関心を持つことが最も重要だと思います。有用性ではなく、面白いと思うことを追究すること、それが本当の「ためになる」ことではないでしょうか。

再任教諭国語 田口裕一 先生(愛知総合工科高等学校より)

19年ぶりに戻ってきました。かつて、入試制度が学校群の頃に赴任し、転出するときは複合選抜となっていた、大きな変化のある15年間を過ごしました。とても懐かしい気持ちで一杯です。どうぞ宜しくお願い致します。

再任教諭地歴公民(政経) 藤吉 光 先生(愛知商業高校より)

本年4月から本校に勤めることになりました。中村高校は伝統のある学校で、とてもよい学校だと聞いています。生徒の皆さんに会うのが楽しみです。どこまで出来るかわかりませんが、少しでも生徒の皆さんの力になれるようにがんばりたいと思います。よろしくお願いします。

再任教諭地歴公民(世史) 前田 学 先生(名古屋西高校より)

かつて同じ中村区にある松蔭高校に10年間つとめていたことがあります。時々部活動の引率で中村高校のグラウンドにお邪魔していました。懐かしいです。それにしてもコロナ禍は本当に辛い。生徒諸君と互いに励ましあっていききたいです。よろしくお願いします。

再任教諭英語 山田健次 先生(緑丘高校より)

前任校での勤務が長かったので、すべてのことが新鮮で刺激的に感じられます。できるだけ早く環境に適応していきたいと思っています。

一日一日を大切に、生徒と一緒に成長していきたいと思っています。

臨任講師家庭 鈴木利賀 先生(長久手高校より)

今年度、1年生の『家庭基礎』を担当させていただきます『すずき りか』です。家庭科は実習が多く、楽しい授業ですが、今年はやれる範囲で頑張りたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

令和2年度PTA常任理事



会長	近藤 英生	307	(前列右から4人目)
副会長	今 藤彦	205	(前列右から3人目)
	服部 智美	307	(前列左から4人目)
	竹村 有加	306	(前列左から3人目)
	渡邊 修	校長	(前列中央)
書記	太田 有美	205	(前列右から2人目)
	伴 寿美	103	(後列左から3人目)
	伊藤 正明	教頭	(前列右端)
会計	田中 浩江	202	(前列左から2人目)
	寺西 有香	事務	(後列左から2人目)
監査	酒井 英樹	102	(後列中央)
	服部 利明	106	(後列右端)
	佐野 好宏	教頭	(前列左端)
生活委員	齋藤 裕子	306	(後列左から4人目)
進路委員	西尾 知里	306	(後列右から4人目)
厚生委員	滝川 慈子	306	(後列右から3人目)
広報委員	伊駒真寿美	306	(後列右から2人目)
	久野 雅人	総務部	(後列左端)

(敬称略)

令和2年度PTA常任委員会構成

	1 年	2 年	3 年	学校		1 年	2 年	3 年	学校
生	伊藤 美香 101	祝 陵子 201	中尾 陽子 301	伊藤正明	厚	中西かおり 101	阪野千恵美 201	佐々木由紀 302	寺西有香
	佐村 美湖 102	○成田 裕紀 201	金子久美子 302	暮石全光		瀬戸山奈千 102	川原さおり 202	吉田 伴美 303	古旗恵子
	五十嵐真由美 103	原田 悦子 201	光田 仁美 303	佐久間孝史		中島 奈月 103	平原 聡子 203	片原 節子 305	小島慎子
	日吉 奈美 103	前出 玲 202	日下部明美 304	中神俊介		本田 知子 104	加藤 葉子 204	小林 郁子 306	
	伊藤 静香 104	井伊谷亜季 203	富田由紀子 306			一柳瑠理子 105	内藤 梨乃 204	○滝川 慈子 306	
	高木江身子 104	向 久美子 203	○齋藤 裕子 306			鈴木 明美 106	野田 聖子 205	飯田 福美 307	
	大矢亜紀子 106	小川 洋子 204	森 史香 306			蟹江 幸子 107	○星野 理恵 205	杉山 美幸 308	
	田中ゆかり 106	奥村千鶴子 205	渡邊小奈枝 306			川口 寿志 108	高羽 ゆき 206		
	高木 由紀 107	山本 直子 205	久保田千夏 308			小崎 澄雄 108	二塚ゆかり 207		
	井上智恵美 108	玉置 梓 207	隈井佐江子 308			藤田 智子 108	山田由紀子 207		
活		植村 昌美 208			生		竹内三千代 208		
							武藤亜紀子 208		
進	江場 雅子 101	柴田 宣枝 202	山内万夕美 302	小出賢一	広	吉田衣美子 101	ジニー・チェン 201	井澤 雪江 302	佐野好宏
	吉田 香代 101	中野真喜子 202	田中由佳里 303	隅田 良		酒井 奈美 102	梅田由紀子 202	鈴木 典子 304	久野雅人
	志知 愛 102	○加藤 理絵 203	山崎 幸恵 303	安藤智紘		目黒 理絵 102	松尾 清子 205	鬼頭 優子 305	林 敦子
	磯村 淳子 103	太田瑠弥子 204	○西尾 知里 306			山中 健一 103	山崎 聖美 205	水畑 裕子 305	
	早瀬 留里 104	槻木 由美 204	多和 洋子 307			江村 園子 105	○安田 亜古 206	○伊駒真寿美 306	
	川村小百合 105	小林 有紀 206	加藤 明美 308			林 智佳子 105	野田 美帆 207	杉本 明子 306	
	杉戸 育子 105	田中佳保里 207	酒井 幸江 308			高野亜加根 106	井津 智子 208	水野 春枝 306	
	水野 絵美 106	畠 伸子 207	宮崎 洋子 308			馬庭祐一郎 106	中越 叔子 208	鶴飼美也子 308	
	古屋 幸恵 107	原田くみ子 207				吉田 佐織 107	服部 まき 208	村越 浩子 308	
		高橋 恵子 208				青山かおり 108	坂野こずえ 208		

(常任委員長 ◎印、常任副委員長 ○印) (敬称略)

退職・転出職員

〈退職〉

近藤 仁司 (数学)
 杉藤 充彦 (国語)
 武藤 光祐 (保体)
 山口 優香 (実教)

〈転出者・転出先〉

齋藤 佑介 (国語)
 磯貝 卓満 (地歴)
 田口 雄基 (公民)
 甘蔗生裕紀 (理科)

名古屋市立富田高校

佐屋高校
 岡崎東高校
 守山高校
 明和高校

松浦 奈加 (養教)
 栗田 研児 (事務)
 深見 稔 再任(国語)
 安保 伸子 再任(数学)
 山本 芳敬 再任(数学)
 国枝由美子 再任(英語)
 佐藤 汐里 (地歴)
 篠塚洸太郎 (英語)

昭和高校
 尾張教育事務所
 千種高校
 熱田高校
 旭丘高校
 松蔭高校
 豊田高校
 守山高校

(敬称略)

広 場

こんな時だからこそ

PTA書記 伴 寿美

ご入学、ご進級おめでとうございます。この度PTA書記を務めさせていただく事になりました1年生保護者の伴と申します。2年生、3年生の役員の皆様にご指導をいただきながら3年間頑張りますので、よろしくお願い致します。

本来であれば、子供達にとってこの時期は新生活に慣れ、一番充実した日々を過ごしている頃だと思います。しかしながら今年度は誰もが予測していなかった新型コロナウイルス感染拡大により入学式翌日から休校になり、緊急事態宣言が出されて自粛を求められ、当たり前前の生活が出来なくなってしまいました。元氣な子供達にとって、友達に会えない、学校に行けない本当に辛く長い期間だったと思います。大人にとって

も見えない敵との闘いは初の経験で全てにおいて手探り状態でしたが、先生方のご尽力のおかげで5月25日から学校が再開できた事を本当に嬉しく思います。ただし今年度は試練の日々になる事は否めません。中村高校の醍醐味である文化祭の中止、国際交流の中止、部活動も出来ず、様々な大会の中止等が決まりました。子供達の事を考えると切なく残念で仕方ありませんが、こんな時だからこそ、中村高校が目標としている自主の庭を目指して、今自分にできる事、将来の自分の為にやるべき事を見つけ、立ち止まらずに前向きに頑張りたいと願っております。

来年の今頃は大人も子供も全ての人々が笑って新生活が迎えられる様に、本来の中村高校の行事が滞りなく行うことができます様に。PTA役員の一員として微力ながら努めて参ります。

期 待

1年3組 藤田 理央

喜びと不安の思いを胸に登校した入学式から二か月が経ち、ようやく私たちは憧れの高校生活をスタートさせることができました。今春は新型コロナウイルスの影響で、いまだかつてない自粛生活を強いられています。新しくできた友達とも会えず、文化祭や体育祭などの行事の中止も決まってしまう、悲しい思いでいっぱいです。私が中村高校を志望したのは、卒業生である兄から中村高校は活気に溢れ、楽しい学校だと聞いていたからです。この学校でなら消極的な自分を変えられるかもしれない、と期待をもって入学しました。しかし休校によって期待が不安へと変わっていき、登校できない日々が続く、休校が終わればみんなと話せるかな、勉強はついていけるかな、などそんなことばかり考えていました。今でもみんなになじめているかと悩んだり、焦ったりしています。

そんなとき、私はここを通過点と思えばいいんだと考えるようになりました。友達をつくることは大切だし、人とコミュニケーションを取ることはとても重要だと思います。でも、それはゴールではなくて高校生活を充実したものにするための通過点だと考えると、気持ちが少し楽になりました。これからどうしようとするのではなく、今自分が何をすべきなのか何がで



きるのかを考えることで、気持ちを新たに切り換え、楽しい高校生活をイメージすることで、少し前向きな気持ちになりました。

私のモットーは“因果応報”です。自分が受ける結果は、それ以前の自分の行いで決まる。これからどうなるかは今の自分次第であり、可能性は無限大だと思います。なりたい自分になるために、今の自分は何をすべきなのかを、いつも心に問いかけて行動していきたいです。

慣れない高校生活にとまどうこともありますが、三年間という短い時間の中でたくさんの友達とたくさんの思い出を作れるよう、全力で楽しみたいと思います。